

ちいさな証

光満ち溢れる世界へ

石川友子

スイス日本語福音キリスト教会



私は、昭和49年(1974年)に東京で生まれました。家族は、日本では普通の宗教色の薄い家でしたが、一番お世話になった祖母の要望で、私の兄弟と従兄弟達は、カトリックの幼稚園に通わせて貰いました。ですから、神様、イエス様やマリヤ様の事は、比較的早くから聞く機会を与えられました。幼児期には母に就寝前に「神様にお祈りしてから寝るのよ。」と言われて

いた事を覚えています。

でも小学校から中学校は普通校でしたので、御言葉に触れることは有りませんでした。教会に行く機会がもたらされたのは、15歳でアメリカに単身留学を始めてからです。それから沢山のキリスト教徒の方々に親切にして頂き、私もこの人達のように他人の為に生きられたらと思った事がきっかけで、25歳の時、当時インディアナ州立大学ブルーミントン校で修士号を学んでいた際に、メソジスト教会にて洗礼を受けました。

それ以来、正直言って聖書は何度も読み始めましたが、いつも途中で挫折してしまっていました。聖書を定期的に読み始める様になったのは、約10年前の大きなスキー事故の後に、クスター節子姉に勧められてからです。節子姉が当時貸して下さった中川健一先生の書かれた「日本人のための聖書物語」は、聖書入門としてとても役に立ちました。それから原しのぶ姉の紹介して下さい「みことばの光」も数年前から愛読しています。

スイス日本語福音キリスト教会の事は、節子姉が随分前から私達の住むサントガレン市内で催して下さい家庭集会で知りました。当時は、マイヤー先生やフランクフルトの矢吹先生がわざわざサントガレンまで来て下さり、聖書を分かり易く解説して下さいました。コロナ前には、マイヤー先生の率いる聖地旅行にも参加させて頂き、ますますイエス様の世界に近づく事が出来ました。

スイスに来てちょうど20年になりますが、先月、20年間所属していた地元の国教会を退会して、スイス日本語福音キリスト教会に入会する事を決意しました。ここ数年考えていた事なのですが、極め付けは、今回初めて参加させて頂いたドイツで開催された「ヨーロッパ・キリスト者の集い」でした。あまりにも有難い

事が継続して起こり、神様の示して下さいる道がはっきりと見えたのです。ここでは二つだけ書かせていただきます。

一つ目は、マタイ7章7節「求めなさい。そうすれば与えられます。探しなさい。そうすれば見出します。叩きなさい。そうすれば開かれます。」

私は求めなかったばかりに、今に辿り着くまで人生の半分を見過ごしてしまいました。特に悩み事が手に負えなくなった夏休み前に、神様にお祈りして道しるべを探してみたら、ドイツでの「ヨーロッパ・キリスト者の集い」に導かれ、有難い事に色々な事を見出す事が出来ました。そしてこうして皆さんの教会の扉を叩いてみたら、開けて頂きました。この扉が光満ち溢れる世界に繋がっている事を確信しています。



キリスト者の集いで

もう一つは、使徒の働き16章31節「主イエスを信じなさい。そうすれば、あなたもあなたの家族も救われます。」

これは、家族中どちらを向いても宗教アレルギー反応に出くわす辛い環境にいる私への慰めです。でも愛する家族、親戚、友人を始め、世界中のなるべく多くの人達が、聖霊様に心を開いていただける様に皆様と祈っていただけたいです。

40代の終わりに差し掛かり、随分時間がかかったものですが、JEGの皆様を始め、世界中の沢山のキリスト教徒の兄弟姉妹に助けられ、やっと私の心も聖霊様に開いて頂きました。これからも皆様と共にこの素晴らしい御言葉をなるべく多くの方々に伝道できる様に、地元家庭集会の計画と開催、そしてヴァイオリンを使っの賛美演奏などを通して神様のお役に立てたらなと願っています。これからもどうぞ宜しくお願いします。



毎夏、8月9日、東スイス・ハイデン村のアンリ・デュナン博物館で催される長崎の鐘記念式典で日本の曲を演奏しています。